

緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No.10

令和8年6月24日

茎数多い！直ちに中干しを開始して生育を制御！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

◎今後の気象

6月24日発表の週間天気予報（気象庁）によると、今後1週間の最高気温は平年並みからやや高くなる見込みです。また、23日発表の3か月予報では、7月から8月の気温は平年並みか高くなると見込まれ、今年も厳しい登熟条件になることが予想されます。

◎生育概況

6月24日現在の平坦部の生育は、「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」のいずれも平年値と比べて草丈は短く、茎数は多く、葉色は平年並み、葉数は「はえぬき」「つや姫」でやや多く、「雪若丸」で平年並みとなっています。

平坦部「はえぬき」の生育（6月24日）

項目	調査値	平年値	平年比・差	（概況）
草丈	36.8 cm	39.3 cm	94	短い
茎数	560 本/㎡	501 本/㎡	112	多い
葉数	8.9 枚	8.6 枚	0.3	やや多い
葉色 (SPAD)	42.6	41.8	0.8	平年並み

「つや姫」の生育（6月24日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈 (cm)	39.4	42.1	94 短い
茎数 (本/㎡)	590	483	122 多い
葉数 (枚)	9.0	8.5	0.5 やや多い
葉色 (SPAD)	42.0	41.5	0.5 平年並み

6月30日の生育指標

項目	内陸	庄内
草丈 (cm)	48	45
茎数 (本/㎡)	500	540
葉数 (枚)	9.3	
葉色 (SPAD)	40	

「雪若丸」の生育（6月24日）

項目	調査値	平年値	平年比・差
草丈 (cm)	33.2	36.7	90 短い
茎数 (本/㎡)	631	578	109 多い
葉数 (枚)	9.2	9.0	0.2 平年並み
葉色 (SPAD)	45.6	45.4	0.2 平年並み

6月30日の生育指標

項目	内陸	庄内
草丈 (cm)	41	45
茎数 (本/㎡)	590	670
葉数 (枚)	9.3	9.6
葉色 (SPAD)	43	42

※いずれの品種も各農業技術普及課の調査結果を平均した値

◎当面の技術対策

直ちに作溝・中干しをしっかりと行って無効分げつを抑制しつつ根の健全化を図り、穂肥に向けた生育診断を適期に行うことが重要です。

(1) 多くの圃場で茎数過剰となる恐れあり！直ちに作溝・中干し！

茎数は平年より多くなっており、十分な状況です。茎数過剰となっている圃場も散見されます。直ちに作溝・中干しを行って、無効分げつを抑制し、根の活力を向上させ、穂肥がしっかり行える稲姿にしていきます。

中干しは圃場に小ヒビが入る程度を目安としますが（右図）、茎数が多かったり、葉色が指標より濃い場合は、強めの中干しを行います。また、中干しの効果を高め、効率的な水管理ができるよう作溝も合わせて行いましょう。



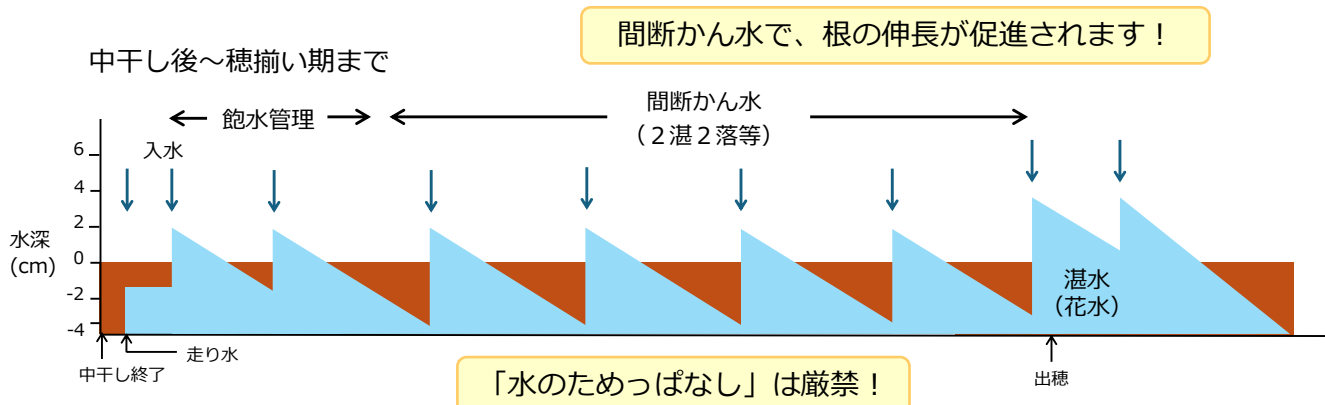
小ヒビが入る程度の中干し

(2) 茎数不足の圃場でも、7月初めまでには作溝・中干しを開始！

茎数が不足している圃場では、水深2～3cmの浅水管理を徹底して分げつを促進し、6月中に茎数を確保しましょう。穂肥前には中干しを終了できるよう、遅くとも7月初めまでには作溝・中干しを開始しましょう。

(3) 中干し後は「飽水管理」「間断かん水」で根をしっかり張らせる！

中干し終了後は走り水を行って飽水管理とし、徐々に間断かん水に移行しましょう。湛水状態が続くと、土壌の還元が進んで根へのダメージが大きくなります。今年は高温が続く予報となっていることから、特に注意が必要です。



効率的な水管理には「作溝」が不可欠です！

白未熟粒の発生を抑えるための「登熟期の飽水管理」にも作溝が必須です

(4) 葉いもち発生に注意！地域ぐるみの草刈りでカメムシ対策を徹底！

今後いもち病感染に好適な気象条件が発生しやすいと予想されます。茎数が過剰な圃場や圃場内で葉色が濃い場所をしっかりと観察して、葉いもちの早期発見、早期防除を徹底します。

また、6月24日発表の予察情報によると、斑点米カメムシ類の発生量は「多い」予報です。地域ぐるみで水田内の雑草対策や畦畔及び農道等の草刈りを励行し、斑点米カメムシ類の生息密度低下に努めます。



いもち病の病斑

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！